

平成30年度碧南ふれあい作業所指定管理者審査委員会 会議録

1 日時

平成30年7月24日（火）午後1時30分から午後2時15分まで

2 場所

碧南市役所 2階 談話室1

3 出席者及び欠席者

(1) 出席委員

ア 市職員

碧南市副市長 松井 高善（委員長）

碧南市総務部経営企画課長 生田 和重

イ 学識経験を有する者

東海税理士会刈谷支部副支部長 伴野 義雄

ウ 各種団体を代表する者

民生委員児童委員協議会代表 鳥居 隆幸

心身障害児者を守る会会長 小林 明子

NPO法人ゆるりん理事長 磯貝 厚子

(2) 欠席委員

学識経験を有する者

愛知教育大学教授 厨子 健一

(3) 事務局職員

福祉こども部長 岡崎 康浩

福祉課長 金原 厚夫

福祉課社会福祉係長 岩月 保

福祉課社会福祉係主事 杉浦 久美子

(4) 指定管理者

碧南ふれあい作業所所長 竹内 涼

社会福祉法人ダブルエッチジェー 法人本部事務長

4 傍聴者

0名

5 議題

- (1) 平成29年度事業報告及び収支決算について
- (2) 平成30年度事業計画及び収支予算について
- (3) その他

6 議事の要旨

- (1) あいさつ（松井委員長）
- (2) 議題

(1) 平成29年度事業報告及び収支決算について

指定管理者が会議資料に基づき、議題（1）を説明した。その後、審議した結果、承認された。

<主な意見・質疑>

【指定管理者】

昨年度、新しい取り組みとして、金原酒店がオリジナルで造っている日本酒「わがまち」の瓶のラベルを作業所の利用者が作成し販売していた。来年度は作業所で紙からラベルを作る予定。

【委員】

近年利用者の出入りがほとんどない状態だが、高齢化が関係しているのか。
また、出入りが少ないと施設を利用できない人出てくるのではないか。

【指定管理者】

新規の契約は定員が60名というなかで、受け入れられる人数にも限りがある。
平成24年に新体制移行のため、知的の授産施設から生活介護という仕事中心というよりは日常生活の充実を中心とした事業所にするという方針が変わった。そのため、就職を目指したい人はふれあい工房アルゴという就労系の事業所へ入所したため、平成24年度に9名退所というとなっている。平成25年度の退所者も同様の理由である。その他の退所に関しては利用者が亡くなられるケースだった。

【事務局】

入所の待機者は実際に、市外の施設に流れているのが現状である。碧南市としても施設の拡充が今後の課題であると認識している。

【委員】

高齢化とあるが、施設を利用できるのは何歳までか。

【指定管理者】

原則 65 歳になった時点で障害福祉サービスではなく介護サービスに移行するように全国的に言われている。しかし、実際は 65 歳になった時点で急にまったく知らない事業所を探すことは利用者側にとって困難であったり、事業所側としても障害をもつ高齢者を受け入れることに抵抗を感じたりすることがある。

そのため、一定の猶予期間を設け、徐々に介護サービスに移行していくようにすればよいと言われている。実際に 65 歳を超えた利用者は 3～4 名おり、ふれあい作業所の利用者の平均年齢は 44 歳である。

【委員】

最近では事業所のスタッフの人手不足が問題になっているが、人材確保や人材育成について工夫していることはあるか。

【指定管理者】

実際にスタッフがなかなか集まらない。

新卒の職員については法人として新人研修を行ったり、教育的支援員という役職を設け、新しく入った職員に対して仕事を教えたりという取り組みを行っている。

また、ハローワークに依頼したりチラシを配ったりしているが効果が見られないため、人材紹介の会社を活用したりして人材確保に努めている。

団体や行政に何かアイデアをいただきたい。ひとつの案としては外国人労働者の雇用を検討している。

【委員】

暑い日が続いているが、利用者の体調管理やバイタルチェックについて工夫していることはあるか。

【指定管理者】

外で仕事をする利用者に対しては 30 分に 1 回の水分補給をするようにしている。また、お茶ではなくスポーツドリンクを飲むようにしている。加えて熱中症対策のタブレットを利用者、職員ともに外出前に飲むようにしている。また、状況によっては作業を中止し、無理をしないようにしている。

バイタルチェックについては、看護師 3 名配置し、毎日のバイタルチェックはもちろん、表情等を見ながら変化に早めに対処できるよう努めている。

(2) 平成 30 年度事業計画及び収支予算について

指定管理者が会議資料に基づき、議題（２）を説明した。その後、審議した結果、承認された。

<主な意見・質疑>

【委員】

給食費は２５０円で足りるのか。

【指定管理者】

２５０円は利用者からの実費負担としていただく金額。他は国からの食事提供体制加算で賄っている。

【委員長】

アレルギー対策などはしているか。

【指定管理者】

毎年１回栄養士が作った嗜好調査を行ってアレルギーを把握している。現状としては確定したアレルギーを持っている人はいない。

また、肝炎のキャリアの利用者のは仕事を分けたり、カロリー制限がある人はお米を自分で持ってきてもらったりして対応している。

（３）その他

議題、連絡事項等なし。